

浪工会 NAMIKOKAI 会報

<http://www.namikokai.com/>

発行●星翔高等学校同窓会浪工会 〒566-0022 摂津市三島3丁目5-36 TEL06-6381-0220 FAX06-6383-4822 発行日●2014年9月1日

たいまつ引継ぎ星翔高校の発展を



星翔高等学校校長 種橋和憲

浪工会の皆さま方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本校のためにいろいろとご尽力賜り、誠にありがとうございます。

さて、私は今年平成二十六年四月から校長を拝命し、星翔高等学校の未来を託されました。私は浪速工業高等学校に奉職して三十七年浪工と星翔の変わりゆく姿を見続けてまいりました。七十六年の歴史の役半分をここで過ごさせていただいています。その中では、多くの卒業生を送り出し、多くの入学生を受け入れ、毎年違った雰囲気の中過ごさせていただきました。しかし、根本に流れる浪工精神は指導者の中に連綿と受け継がれていると感じています。浪工から受け継がれた伝統、「ものづくり」「挨拶」「躰け教育」。この七十六年の歴史は、ますます結実し、一〇〇年、二〇〇年先へと受け継がれていくことでしょう。

学校は、機械科、電気科から始まり電子科、普通科ができ、電子機械科、国際化へと広がりました。総合高校としての体裁

が整い、押しも押されもしない重圧感が漂います。工学系学科は今では大阪府私学唯一の四工学科を持つ学校として存在感を持っています。今となつては大阪のみならず近畿からの受験生を迎える学校となりました。また、普通科は二コースで進学を目指しています。また、国際化NZ留学中心の国際科からスポーツへと大きく転換しましたが、全国大会出場を勝ち取るようになっていきます。このように日々変化し進化しつつ、次世代に向けて姿を変えながら伝統を受け継いでいきたいと考えています。

今後とも力の限り、星翔高等学校の名に恥じぬよう教育に邁進する所存です。同窓会の皆さまのためまねご支援とご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



星翔高等学校教頭 畑山正年

平素は浪工会の皆さまには、学校運営にご協力いただきましてありがとうございます。この四月一日より教頭の職を任命されました畑山と申します。また、私自身も昭和五十三年機械科卒業で浪工会役員会にも参加させて頂いております。今年より前種橋教頭が校長になり、我々二人教頭制で普通科より三俣が、



星翔高等学校教頭 三俣洋史

この度四月より教頭に任命されました。三俣と申します。浪工会の皆さまには、学校運営におきまして、さまざまな角度から支えていただき、誠にありがとうございます。今年度より教頭二人制となり、渉外活動を経験していた私が入口を中心に担当し、進路指導部を長年経験されていた畑山先生が出口を中心

工業科より私が任命されました。お互いに普通科・国際科、工業科の発展を考えて学校全体を盛り上げていくことが使命だと思っております。今年は貴会の星翔ジュニアマイスター制度により、意欲をもつて資格取得を目指し、今までにない成果を実現しようとして頑張っています。この制度の本来である公益社団法人全国工業高等学校校長協会のジュニアマイスター顕彰で、今年度はゴールド賞を受賞する生徒が複数名出てきております。今回のように工業科の教員がアドバイザーし、「きっかけ」を作り生徒のやる気や目標を持てる生徒を数多く社会に導けるように頑張りたいと思います。

に担当され、学校の安定を図りますとともに、盛り上げていく所存でございます。

少子化と言われたから十数年が経ちましたが、さらに拍車がかかり平成三十三年には府下の中学校の卒業生が六万五千人を割り込みます。そのような中で工業科を有する学校として、また普通科・国際科を持つ総合高校として、さまざまな方々から愛される学校作りを目標とし、微力ではございますが、尽力をつくしたいと思っております。今後より一層のご協力を賜りたくよりお願いいたします。最後になりましたが浪工会のますますのご発展をお祈りしております。

平成26年度 主なクラブ活動の戦績

(順不同・平成26年7月現在)

硬式野球部

- * 春季大会 2 回戦進出
- * 選手権大会 3 回戦進出

卓球部

- * インターハイ予選 5 位
- * 近畿高等学校卓球選手権大会学校対抗・ダブルスの部出場
- * 大阪私立高校総合体育大会 3 位

男子バスケットボール部

- * 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会出場
- * 大阪高等学校バスケットボール選手権大会 2 次予選 1 回戦

女子バスケットボール部

- * 大阪私立高校総合体育大会準優勝
- * 大阪高等学校バスケットボール新人大会 7 位
- * インターハイ大阪予選 6 位
- * 近畿高等学校バスケットボール選手権大会 2 回戦

女子駅伝部

- * 木南道孝記念陸上 (高校 3000mSC) 優勝小柳、2 位尾白、3 位佐伯
- * インターハイ大阪予選 (5000mW) 優勝 吉川、2 位 東
- * 大阪選手権 (3000mSC) 5 位片原 (5000mW) 2 位吉川、4 位尾白、5 位東

陸上部

- * 大阪高等学校陸上競技選手権大会中央大会 800m (3 年) 準決勝進出

男子サッカー部

- * 大阪高校春季サッカー大会 2 回戦
- * 大阪私立高校サッカー大会 1 回戦
- * 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ大阪 3 部リーグ豊能・三島ブロック C グループ 1 分 3 敗

女子サッカー部

- * 大阪高校新人サッカー大会ベスト8
- * 大阪高校春季サッカー大会ベスト8

女子柔道部

- * インターハイ大阪予選団体 2 位
- * インターハイ大阪予選個人 63kg 級 岩本彩里 3 位 70kg 級 小沼結香 2 位
- * 私学大会 女子個人 小沼結香 2 位

アーチェリー部

- * 大阪高校春季アーチェリー大会 男子個人 松本和樹 3 位 男子団体 2 位 (近畿大会出場)
- * 団体予選個人 2 次予選 松本和樹 1 位、條田尚弥 4 位 最終予選 松本和樹 3 位 (近畿ブロック大会出場)

ソフトテニス部

- * 春季大会個人戦中央大会出場
- * 大阪総体個人戦出場
- * 吹田市連盟杯争奪大会出場

剣道部

- * インターハイ予選 男女個人・団体戦出場
- * 摂津市長杯出場

機械研究部

- * 全国高等学校鉄道模型コンテスト モジュール部門、HO 車両部門、5 インチゲージのファンを増やそう部門 参加

電子機械研究部

- * 全日本ロボット相撲近地大会 高校生部 ラジコン型準優勝・3 位、自立型ベスト 8
- * 高校ロボット相撲全国大会 ラジコン型 4 位 (小結)

電気自動車部

- * エコデン全国大会 14 位

同窓会員の皆様へのお礼とお願い

誌面に紹介できなかったクラブも含めて、母校・星翔高校には多様な部活動で頑張っている生徒がたくさん在籍しています。

星翔高校のクラブは近年高い成果をあげており今後も継続的な支援が必要不可欠です。

同窓会員の皆様におかれましては引き続きまして温かいご声援とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



三八五名を送る母校の卒業式典
浪工会より記念品の授与と表彰

二月二十二日十時より行われた母校の卒業式では三八五名の後輩たちが巣立って行った。そのうち就職者数一二八名。進学者数二二六名と聞いた。同窓会役員らも出席した式典の中で中谷会長より卒業記念品（卒業証書ホルダー）の贈呈があり、星翔ジュニアマイスターの表彰があった。

二十五年度の受賞者は

星翔ジュニアマイスターゴールド賞

栗原 悠（電気工学科）
村上 知明（電気工学科）

星翔ジュニアマイスターシルバー賞

竹田 翔太（機械工学科）
岡田 弦也（電気工学科）
高橋 京右（電気工学科）
野間 哲也（電気工学科）
橋本 新之介（電気工学科）
元 健志郎（電気工学科）
川枝 直樹（電子工学科）
服部 友哉（電子工学科）



昔にくらべるとはるかに多い卒業生の後輩らを送る式典では保護者が二階にも溢れるような状態で摂津市長や代議士らの来賓を迎えて活気に満ちていた。

全国大会等に出場の
クラブ活動に慶弔祝い金

浪工会では在学生の課外活動に援助を行うため以前より「クラブ活動援助金」の制度を設けて支援してきた。その中身は全国大会出場やそれに準じた顕著な成績を収めたクラブに援助金を支出してきたものであるが、最近ではスポーツクラブ以外の電子機械研究部でも全国大会に出場するなど活躍の幅が広がってきた。アーチエリー部では住友雅二君が全国大会で個人優勝。男子バスケット部では夏冬連続で全国大会に出場。女子柔道部の河野里咲さんはインターハイ個人に出場した。その結果、二十五年度のクラブ活動、慶弔祝い金の内訳は

男子バスケット部 十五万円
アーチエリー部 十万円
卓球部 十万円
女子柔道部 十万円
女子駅伝部 九万円
バレー部 五万円
電子機械研究部 六万円
合計で六十五万であるが二十四年度は特に成績が良く祝い金の合計は八十六万円であった。

同窓生会合援助金の活用を

一昨年より同期会やクラス会などの同窓生の集まる費用の一部援助を行っているので連絡されたい。規定は年一回、一万円が上限、参加者一名に三百円。後で事務局まで参加者名簿と写真を提出されたい。

前校長楠本義一氏が退職

大安義彦元校長の後を引き継いで九年の長きにわたり母校の校長として活躍された楠本義一氏が平成二十六年三月末をもって退職された。浪工会でも名誉会長として支援いただいた関係から三月十七日に役員や相談役らが集まり送別会を開催。種橋和憲新校長にも参加してもらった。

楠本先生は中山元理事長の不祥事で母校が存続の危機に揺れた時に瀬川昭前理事長らと協力して健全経営への道を開いていただいた。教室が足りなくなる程の生徒増（千二百余名）にも貢献された。ご苦労さんでしたと言いたい。

主な就職先

アートコーポレーション(株)
医療法人恒昭会 藍野病院
医療法人祐生会 みどりヶ丘病院
大阪高速鉄道(株)
大阪紙器工業(株)
大阪府警
河村加工(株)茨木工場
関西興業(株)
協同シャフト(株)
(株)サカイ引越センター

佐川印刷(株)
上新電機(株)
第一三共プロファーマ(株)
大和軽合金(株)
(株)竹本設備
トヨタカローラ新大阪(株)
西日本旅客鉄道(株)
日世(株)高槻工場
日鉄住金関西工業(株)
日本電設電車線工事(株)
日本トーカーパッケージ(株)大阪工場
阪神金属興業(株)
富士シート(株)本社工場
ブリヂストンタイヤ北大阪販売(株)
(株)マエカワ
美鈴紙業(株)
陸上自衛隊
(株)ロイヤルホテル
ワールドウインググループ

編集後記

各年に開催しているホテル等での同窓会総会に合わせて今回も会報をお届けします。紙数が少ないため母校の現況を十分に伝えられませんが、理事会、評議員会にも役員若干が参加。老朽化した校舎の建て替えが迫るものの堅実な学校運営で母校の今後には期待するものがあります。また詳細について秋の総会で語り合いたいものです。会員各位の多数参加をお待ちしております。

星翔高等学校浪工会は皆様からの個人情報（氏名、住所、電話番号等）を同窓会が定める「個人情報」の取り扱いに関する方針に従い責任を持って管理します。

平成二十六年度 浪工会役員

顧問	和泉慎次（理事長）
	大 安 義 彦（元校長）
	楠 本 義 一（元校長）
名誉会長	種 橋 和 憲（校長）
相談役	瀬 川 昭 昭（機械科 昭和20年 元理事長）
	橋 本 克 巳（昭和24年 機械科）
	小 林 貞 夫（昭和28年 機械科定
	岸 田 弘 弘（昭和28年 電気科）
	行 澤 勇（昭和30年 電気科）
会 長	中 谷 太 喜 夫（昭和31年 電気科）
副会長	恩 庄 俊 治（昭和35年 電気科）
	中 井 東（昭和38年 電子科）
	山 本 甫（昭和40年 機械科）
会 計	庄 山 由 多 加（平成5年 普通科）
	高 田 真 和（平成7年 電子科）
書 記	佐 古 清 巳（昭和47年 電気科）
	横 山 和 則（昭和54年 電子科）
	中 谷 誠 一（昭和58年 普通科）
幹 事	林 義 晟（昭和37年 機械科）
	橋 本 孝 治（昭和44年 機械科）
	酒 井 美 明（昭和45年 電気科）
	太 田 豊 司（昭和47年 機械科）
	新 谷 峰 史（昭和48年 機械科）
	小 藪 義 則（昭和50年 機械科）
	加 藤 睦 美（昭和51年 電子科）
	志 水 雅 春（昭和51年 電子科）
	宮 崎 裕 幸（昭和51年 電子科）
	畑 山 正 年（昭和53年 機械科）
	中 井 正 泰（昭和60年 機械科）
	大 石 勝 馬（平成元年 電子科）
監 査	川 崎 馨（昭和30年 電気科）
	西 田 和 廣（昭和40年 機械科）

計 報

久富 実先生（社会） 平成24年9月25日
尚原 勲先生（電子） 平成25年6月18日
橋本利久氏（事務） 平成26年6月17日



星翔高等学校同窓会

平成26年度浪工会総会のご案内



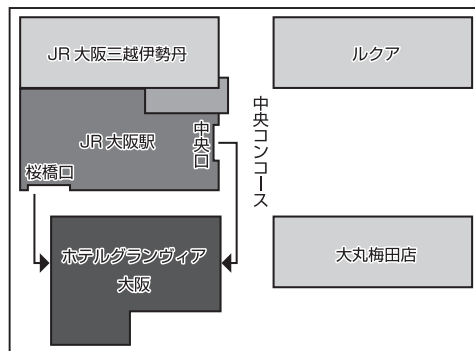
日時

平成26年9月26日(金)
午後6時00分～受付
午後6時30分～総会・懇親会
※懇親会は2時間程度を予定しております。

場所

ホテルグランヴィア大阪
20階 鳳凰

JR大阪駅中央改札口を出て右手すぐ
(大阪ステーションシティ サウスゲートビルディング内)



大阪市北区梅田3丁目1-1 TEL:06-6344-1235
※公共交通機関でご来場ください。

会費

5,000円(平成24・25年度卒業生は3,000円)

同封の振込用紙にてお申し込み・ご入金ください。(お近くの郵便局にてお願い致します・手数料無料)
準備の都合上9月22日(月)までにお申し込みをお願い致します。

平成25年度 浪工会会計報告

【事業費】 会計期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

収入の部	項目	予算額	収入決算額	増減	備考
収入の部	平成24年度繰越金	1,834,705	1,834,705	0	現金資産12,976円を含む
	平成25年度入会金	2,334,000	2,310,000	-24,000	平成25年度卒業生数 385名×¥6,000
	雑収入	150	187	37	利息
	合計	4,168,855	4,144,892	-23,963	

支出の部					
項 目	予算額	支出決算額	増 減	備 考	
会 議 費	300,000	336,070	-36,070	役員会・委員会等	
卒 業 記 念 費	330,000	309,068	20,932	卒業生記念品(卒業証書ホルダー・ボールペン・入会案内)	
研 修 費	0	0	0		
総 会 費	0	0	0		
会 報 費	100,000	0	100,000		
同窓会基金充当金	0	0	0		
通 信 費	100,000	61,335	38,665	役員会及び委員会通信費・ホームページ管理費	
消 耗 品 費	50,000	1,260	48,740	事務用品等	
慶 弔 費	800,000	670,000	130,000	クラブ活動祝金・餞別	
交 通 費	150,000	69,000	81,000	役員会・委員会等	
名 簿 管 理 費	150,000	0	150,000		
渉 外 費	100,000	38,220	61,780	同窓会特別補助金等	
資 格 奨 励 費	100,000	95,000	5,000	星翔ジュニアマイスター資格顕彰制度	
予 備 費	1,988,855	0	1,988,855		
合 計	4,168,855	1,579,953	2,588,902		
差 引 残 高		2,564,939		(次年度繰越金)	

【特別事業費】 会計期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

同窓会基金 収入の部					
項目	予算額	収入決算額	増 減	備 考	
平成24年度繰越金	16,932,903	16,932,903	0	定期預金7,066,385円を含む	
平成25年度終身会費	2,334,000	2,310,000	-24,000	平成25年度卒業生数 385名×¥6,000	
一般事業費より繰り入れ	0	0	0		
雑 収 入	3,000	2,931	-69	預金利息(定期利息1,408円を含む)	
合 計	19,269,903	19,245,834	-24,069		

同窓会基金 支出の部	項目	予算額	支出決算額	増減	備考
同窓会基金 支出の部	一般会計充当支出	0	0	0	
	合計	0	0	0	
	差引残高		19,245,834		〈次年度繰越金〉

研修積立金 収入の部	項目	予算額	収入決算額	増減	備考
研修積立金 収入の部	平成24年度繰越金	1,900,678	1,900,678	0	
	平成25年度繰入金	0	0	0	
	雑収入	300	304	4	預金利息
	合計	1,900,978	1,900,982	4	

研修積立金 支出の部	項目	予算額	支出決算額	増減	備考
研修積立金 支出の部	海外研修旅行費	0	0	0	
	合計	0	0	0	
	差引残高		1,900,982		〈次年度繰越金〉

平成26年度 浪工会予算

【事業費】 会計期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

収入の部	項目	予算額	備考
収入の部	平成25年度繰越金	2,564,939	現金資産¥12,976円を含む
	平成26年度入会金	1,872,000	平成26年度卒業見込者数312名×¥6,000
	同窓会基金取崩算入金	4,500,000	総会開催・会報発行に伴い予算不足が想定されるため
	雑収入	150,150	懇親会費・預金利息
合計	9,087,089		

支出の部			
項 目	予算額	備 考	
会 議 費	350,000	役員会・委員会・運営委員会・編集委員会等費用	
卒 業 記 念 費	350,000	卒業生記念品(卒業証書ホルダー・ボールペン・入会案内)	
研 修 費	0		
総 会 費	3,500,000	会場代・設営代・懇親会料理代等一式	
会 報 費	1,800,000	編集・印刷・発送等一式	
同窓会基金充当金	0	同窓会基金への繰入予定なし	
通 信 費	100,000	役員会通信費・委員会等通信費・HP管理料等	
消 耗 品 費	100,000	同窓会質備品・事務用品等	
慶 弔 費	800,000	クラブ活動祝金・見舞金・供花・弔電・餞別	
交 通 費	150,000	役員会・委員会・運営委員会・編集委員会等交通費	
名 簿 管 理 費	150,000	個人情報保護法対策費・既存データ整理費用	
渉 外 費	100,000	同窓会特別補助金・外部協力金等	
資 格 奨 励 費	100,000	星翔ジュニアマイスター資格顕彰制度	
予 備	1,587,089		
合 計	9,087,098		

平成26年度入会金は平成27年3月末に入金予定のため、実質的には平成25年度の繰越金および同窓会基金取崩算入金のみによって今年度の予算を執行することになります。このため予備費項目として平成26年度入会金に相当する額を予算として計上する必要があります。

【特別事業費】 会計期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

同窓会基金 収入の部	項目	予算額	備考
同窓会基金 収入の部	平成25年度繰越金	19,245,834	定期預金¥7,067,793円を含む
	平成26年度終身会費	1,872,000	平成26年度卒業予定者数312名×¥6,000
	雑収入	2,500	預金利息
	合計	21,120,334	

同窓会基金 支出の部	項目	予算額	備考
同窓会基金 支出の部	一般事業費充当金	4,500,000	
	合計	4,500,000	

研修積立金 収入の部	項目	予算額	備考
研修積立金 収入の部	平成25年度繰越金	1,900,982	
	平成26年度繰入金	0	
	雑収入	300	預金利息
	合計	1,901,282	

研修積立金 支出の部	項目	予算額	備考
研修積立金 支出の部	研修旅行費	0	
	合計	0	